

芸術専門学群学生の1週間（春学期）

1年生 A さんの場合

	月	火	水	木	金
1 限 8:40 9:55	アート&デザイン入門 (専門基礎科目)	洋画概論 (専門基礎科目)	情報・プロダクト デザイン概論 (専門基礎科目)	基礎スペイン語 B I (基礎科目)	情報リテラシー (基礎科目)
2 限 10:10 11:25	アート&デザイン入門 (専門基礎科目)	美術史概説 A-1 (専門基礎科目)		English Presentation Skills I (基礎科目)	情報リテラシー (基礎科目)
3 限 12:15 13:30		基礎体育 (基礎科目)		日本・アジア領域 比較文化研究 (比較文化学類 基礎科目)	芸術支援学概論 (専門基礎科目)
4 限 13:45 15:00	教育史概論 (教職科目)	ファーストイヤー・ セミナー (基礎科目)			デッサン実習 I-1 (専門科目)
5 限 15:15 16:30	English Reading Skills I (基礎科目)	油彩画基礎演習 I (専門基礎科目)		素描基礎演習 I (専門基礎科目)	デッサン実習 I-1 (専門科目)
6 限 16:45 18:00	基礎スペイン語 A I (基礎科目)	油彩画基礎演習 I (専門基礎科目)	生物資源の開発 生産と持続作用 (生物資源学類 基礎科目)	素描基礎演習 I (専門基礎科目)	

上級生になって洋画の制作に集中できるように1年生のうちに取れる単位を取っています。教職の授業も取っています。留学も考えているので第二外国語にも挑戦してみました。少し忙しい時間割になってしまいましたが、充実感のある生活を送っています。

1年生 B さんの場合

	月	火	水	木	金
1 限 8:40 9:55	アート&デザイン入門 (専門基礎科目)		情報・プロダクト デザイン概論 (専門基礎科目)	基礎ドイツ語 B I (基礎科目)	情報リテラシー (基礎科目)
2 限 10:10 11:25	アート&デザイン入門 (専門基礎科目)	デザイン史概説 A (専門基礎科目)		English Presentation Skills I (基礎科目)	情報リテラシー (基礎科目)
3 限 12:15 13:30		基礎体育 (基礎科目)	人体構造学 (医学群 基礎科目)		環境デザイン概論 (専門基礎科目)
4 限 13:45 15:00		ファーストイヤー・ セミナー (基礎科目)	人体構造学 (医学群 基礎科目)	構成概論 (専門基礎科目)	
5 限 15:15 16:30	English Reading Skills I (基礎科目)		ダイバーシティ &インクルージョン (基礎科目)		デザイン基礎演習 (専門科目)
6 限 16:45 18:00	基礎ドイツ語 A I (基礎科目)				デザイン基礎演習 (専門科目)

先生から履修の見本を貰い同学年の友達と一緒に履修を組みました。デザインを勉強したいので、専門にとらわれず環境、建築、プロダクトを満遍なく勉強しようとしています。また、せっかく大学に入ったので必修ではないのですが第二外国語にドイツ語、他学群の授業ではデザインする際の課題を見つけられるような授業を選びました。

2年生 Cさんの1週間

	月	火	水	木	金
1 限 8:40 9:55	日本語学演習 II-a (人文学類 専門科目)		国語科教育概論 I (教職科目)		
2 限 10:10 11:25	博物館学 I (博物館 基礎科目)	中国書法史 I (専門科目)	国語科教育概論 II (教職科目)		応用体育 ソフトボール(春) (基礎科目)
3 限 12:15 13:30	博物館学 III (博物館 基礎科目)	書鑑賞論 I (専門科目)	英語基礎演習 B-1 (専門基礎科目)		書実習仮名制作 B-1 (専門科目)
4 限 13:45 15:00		書実習基礎 II-1 (専門科目)		書実習漢字制作 B-1 (専門科目)	書実習仮名制作 B-1 (専門科目)
5 限 15:15 16:30		書実習基礎 II-1 (専門科目)		書実習漢字制作 B-1 (専門科目)	博物館展示論 I (博物館 基礎科目)
6 限 16:45 18:00	道徳教育 I (教職科目)	日本文学講読 5 (比較文化学類 専門科目)		教育の方法と技術 (教職科目)	博物館展示論 II (博物館 基礎科目)

高校書道と中学・高校国語の教員免許、学芸員資格の取得をする場合、おおよそこのような時間割となります。様々な分野を学ぶため、科目数が多くなりますが、それゆえに充実した大学生活といえるでしょう。また積極的にアルバイトやサークル活動をしている人も沢山おり、それ以外の時間にはよく書室で作品制作に励んでいます。やる気と努力次第で多くのことに挑戦できるので、常に目標をもって取り組むのが大切です。

2年生 Dさんの1週間

	月	火	水	木	金
1 限 8:40 9:55	考古学・民俗学入門 (人文学類 基礎科目)	美術史学概論 (専門基礎科目)			
2 限 10:10 11:25	博物館学 I (博物館 基礎科目)	色彩学 (専門科目)	文化創造論研究 VI (比較文化学類 基礎科目)	色彩構成演習 I (専門科目)	応用体育 リフレッシュ体操(春) (基礎科目)
3 限 12:15 13:30	ナラティブイラス トレーション演習 (専門科目)		英語基礎演習 B-1 (専門基礎科目)	地球環境学 (地球学類 基礎科目)	ビジュアル デザイン演習 A (専門科目)
4 限 13:45 15:00	ナラティブイラス トレーション演習 (専門科目)			テキスト文化学研究 I (比較文化学類 基礎科目)	
5 限 15:15 16:30	アート・テキスト論 (専門科目)				平面構成演習 (専門科目)
6 限 16:45 18:00	文化創造論概論 (比較文化学類 基礎科目)				平面構成演習 (専門科目)

2年生になると、昨年度に比べて自分が希望する領域の演習の比重がかなり大きくなりました。空いているコマなどはほとんど演習の課題に当てており忙しいですが、しっかりと取り組み自分の技術向上を目指しています。その他に、他学類の授業も興味があるものは積極的に履修しています。人文学類や比較文化学類の授業では、芸術分野に関連する内容もあり、芸専とはまた違う歴史的・文化的な視点から芸術を見ることができて面白いです。

3年生 E さん（美術史領域）の1週間

	月	火	水	木	金
1 限 8:40 9:55			建築史 (専門科目)		
2 限 10:10 11:25	比較文化の探究 -名著のすすめ- (比較文化学類 基礎科目)	世界遺産学入門 (専門基礎科目)	建築史 (専門科目)	造形教育論Ⅰ (専門基礎科目)	
3 限 12:15 13:30					メディア・アート論 (専門科目)
4 限 13:45 15:00		美術史特講 B-1 (専門科目)		美術史特講 D-1 (専門科目)	
5 限 15:15 16:30	アートテキスト論 (専門科目)	美術史特講 B-1 (専門科目)		美術史特講 D-1 (専門科目)	
6 限 16:45 18:00					ヨーロッパ史概説-a (人文学類 基礎科目)

芸術専門学群の中でも制作は行わない領域であるため、授業はほぼ全て講義形式です。他の学群の授業の一部も専門科目の単位として認定される少し特殊な領域ですが、私は芸術専門学群の授業を中心に選択しています。また制作系の科目を自由に受けることも可能であり、昨年は構成領域の授業を受講しました。

3年生 F さん（建築デザイン領域）の1週間

	月	火	水	木	金
1 限 8:40 9:55					
2 限 10:10 11:25		色彩学 (専門科目)	エディトリアル デザイン演習 (専門科目)		
3 限 12:15 13:30	情報デザインⅡ (情報メディア 創成学類 基礎科目)				
4 限 13:45 15:00					建築デザイン演習Ⅰ (専門科目)
5 限 15:15 16:30		デジタル写真基礎演習 (専門基礎科目)			建築デザイン演習Ⅰ (専門科目)
6 限 16:45 18:00	専門語学(英語)Ⅰ (専門基礎科目)	デジタル写真基礎演習 (専門基礎科目)			建築デザイン演習Ⅰ (専門科目)

1、2年生のうちに必修科目の多くを履修するので、そのぶん3年生は好きな授業を取りやすくなります。私は他領域の授業を取っていて建築に直接的な関係がないものもあります。しかし主領域の授業ではなくても、授業で学べることは多く、必ず自分の力になると思います。サークルには2つ入っていて他学群の人とも話す機会が多く、充実した日々を送っていますが、何しろ芸専は忙しいので入っていない人も多いです。

4年生 G さん（洋画領域）の1週間

	月	火	水	木	金
1 限 8:40 9:55					
2 限 10:10 11:25		油絵実習ⅡB-1 (専門科目)		油絵実習ⅡC-1 (専門科目)	油絵実習ⅡD-1 (専門科目)
3 限 12:15 13:30		油絵実習ⅡB-1 (専門科目)		油絵実習ⅡC-1 (専門科目)	油絵実習ⅡD-1 (専門科目)
4 限 13:45 15:00	油絵実習ⅡA-1 (専門科目)				
5 限 15:15 16:30	油絵実習ⅡA-1 (専門科目)				
6 限 16:45 18:00					
集中	卒業研究 A (専門科目), 洋画野外風景実習Ⅲ (専門科目)				

4年生では必修の専門科目のみを履修し、自主制作や卒業研究、就職活動等に時間を割けるようにしています。大学卒業後に何をやるのかを視野に入れつつ、じっくりと制作が出来る最後の期間になると思います。

4年生 H さん（工芸領域）の1週間

	月	火	水	木	金
1 限 8:40 9:55					
2 限 10:10 11:25	博物館学Ⅰ (博物館 基礎科目)	世界遺産学入門 (専門基礎科目)			
3 限 12:15 13:30	住宅地計画論 (専門科目)	感性デザイン学と 融合科学 (専門科目)		ゼミ	
4 限 13:45 15:00	住宅地計画論 (専門科目)	世界の体育・ スポーツ史 (体育専門学群 基礎科目)		ゼミ	
5 限 15:15 16:30	国語Ⅰ (基礎科目)				創造的復興： ローカルデザイン 演習Ⅱ
6 限 16:45 18:00					創造的復興： ローカルデザイン 演習Ⅱ
集中	卒業研究 A (専門科目), 工芸領域特別演習Ⅱ・Ⅲ, 創造的復興：チャレンジ学外演習Ⅱ (専門科目)				

工芸領域では木工を学んでいます。木工では3年生で専門的な授業が多く、4年生では主に卒業論文と制作のために先生と相談しながら自主的に研究を行います。そのため、授業は領域関係なく興味のあるものを取り、授業時間外に専門分野の勉強をしています。アルバイトやサークルは4年間続けていて、学業との両立は大変ですが、他学群の学生と交流もできて良い刺激や気分転換になっています。